

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 セブンシーズホールディングス株式会社
 コード番号 3750 URL <http://www.sshd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 藤堂 裕隆
 (氏名) 岩淵 勲

TEL 03-5225-3612

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	10,930	△17.7	△434	—	△650	—	△966	—
21年3月期第3四半期	13,277	12.9	△378	—	△1,749	—	△1,800	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△20.07	—
21年3月期第3四半期	△37.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	11,224	2,887	11.7	27.37
21年3月期	12,970	3,673	17.6	47.32

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,317百万円 21年3月期 2,278百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	—	△50	—	△250	—	△710	—	△14.74

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	62,944,620株	21年3月期	62,994,620株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	14,845,493株	21年3月期	14,844,853株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	48,149,539株	21年3月期第3四半期	48,150,147株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとした新興国への輸出が回復傾向にあり、一部景気は持ち直しつつある一方、依然として雇用情勢や内需回復への不透明感がみられる中推移しました。

また、出版業界におきましては、出版科学研究所によると2009年の出版物（書籍と雑誌）の推定販売金額は前年比4.1%減の1兆9356億円と、1988年以来、21年ぶりに2兆円を下回り、今後も厳しい状況が続くものとみられます。

このような厳しい経営環境の中、当社グループにおいては、継続的なコスト削減と広告売上減少を補うべく積極的な事業活動を展開した結果、当第3四半期連結会計期間における連結売上高は3,610百万円（前年同四半期比20.5%減）となりました。また、損益につきましては、営業損失は30百万円（前年同四半期は営業損失31百万円）となり、経常損失は72百万円（前年同四半期は経常損失398百万円）となりました。第3四半期純損失は98百万円（前年同四半期は四半期純損失379百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

[メディア事業]

主要媒体において、Webをはじめとした他媒体とのクロスメディアでの展開や、実売部数を増加させる試みをし、趣味系を中心とした雑誌の販売は堅調に推移いたしましたが、景気減速により広告収入が減収となったことから売上高は2,370百万円（前年同四半期比13.9%減）となりました。

[IT事業]

受託開発の売上は縮小傾向であります。iPhone向け携帯アプリケーション開発代行サービス、データセンター事業並びにモバイルカード決済端末事業は堅調に推移いたしました。その結果、売上高は388百万円（前年同四半期比6.5%減）となりました。

[マーケティング事業]

市場調査業務に関しては、海外クライアントからの受注が回復基調にあり、概ね計画通り推移いたしました。また、メディア事業と連携して行っているカスタムパブリッシングが順調に受注及び売上を伸ばしております。一方で、広告代理店業務に関しては、受注が景気減速により減少いたしました。その結果、売上高は851百万円（前年同四半期比38.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

- ①資産 資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べて、1,746百万円減少し、11,224百万円となりました。
- ②負債 負債は、長期借入金、未払費用及び返品調整引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べて961百万円減少し、8,336百万円となりました。
- ③純資産 純資産は、主に当四半期純損失の計上により、前連結会計年度末に比べて785百万円減少し、2,887百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間における営業活動の結果、減少した資金は203百万円（前年同四半期は193百万円の減少）となりました。これは主に売上債権が増加したことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間における投資活動の結果、減少した資金は4百万円（前年同四半期は63百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間における財務活動の結果、減少した資金は162百万円（前年同四半期は39百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金の増減及び長期借入金の返済による支出によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結会計年度の業績予想につきましては、本日別途公表しております「特別損失の発生（連結）および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 法人税等ならびに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

③ 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、平成20年3月期には営業損失421百万円及び当期純損失2,608百万円を計上し、前連結会計年度には営業活動によるキャッシュ・フローはプラスとなったものの、営業損失547百万円及び当期純損失1,866百万円を計上いたしました。当3四半期連結累計期間おきましても、営業損失434百万円、四半期純損失966百万円を計上していることから、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しております。

当該重要事象等を解消すべく、以下のとおり対応しております。

①メディア事業

読者ニーズをよりの確に把握し、特定戦略分野での集中的媒体数増加によるマーケットシェア拡大を図る一方、販売予測精度を向上させることで、損益に重要な影響をもたらす返品率を下げるとともに、媒体制作における原価及び流通コストの削減に努めております。加えて、既存の出版ノウハウを活かし、出版に関する受託業務を展開してまいります。

②IT事業

従来のシステム開発受託に加え、新規ビジネスとしてiPhoneアプリケーション開発代行サービスの販売を開始し、新たな事業形態を実行しております。なお、データセンター業およびモバイルカード決済業においては、固定費の削減効果が寄与し、第2四半期連結累計期間より黒字化しており、更なる収益向上に向け、新規顧客の獲得を行ってまいります。

③マーケティング事業

メディア事業との連携によるカスタムパブリッシング業務の提供を開始し、受注高も順調に増加しており、当第3四半期連結会計期間より業績に寄与しております。当該業務の拡充を図るべく、社内体制の整備及び営業の強化を行ってまいります。

④経費削減

経費全般について全面的な見直しを行い、固定費の圧縮を実施しております。

上記の施策を講じることにより、収益性の改善を図っております。従いまして、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しておりますので、四半期連結財務諸表において、継続企業の前提に関する注記は記載しておりません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,981,125	2,806,114
受取手形及び売掛金	4,562,317	4,666,132
有価証券	—	21,694
商品及び製品	262,777	264,596
仕掛品	20,722	30,984
原材料及び貯蔵品	1,053	803
未収入金	85,984	76,907
未収還付法人税等	17,698	35,202
返品債権特別勘定引当金	△769,559	△698,756
短期貸付金	124,856	172,694
その他	301,723	474,567
貸倒引当金	△60,499	△58,925
流動資産合計	6,528,200	7,792,014
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,134,489	1,220,085
土地	465,000	469,582
その他（純額）	252,277	289,460
有形固定資産合計	1,851,766	1,979,128
無形固定資産		
のれん	1,326,347	1,638,271
その他	98,905	109,464
無形固定資産合計	1,425,252	1,747,735
投資その他の資産		
投資有価証券	107,102	151,700
賃貸資産（純額）	670,929	690,690
長期貸付金	405,384	445,714
破産更生債権等	125,414	109,242
その他	290,404	240,764
貸倒引当金	△180,165	△186,238
投資その他の資産合計	1,419,069	1,451,874
固定資産合計	4,696,088	5,178,738
資産合計	11,224,289	12,970,753

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成21年12月31日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,708,773	2,784,232
短期借入金	3,275,000	3,659,000
1年内返済予定の長期借入金	420,413	444,124
未払費用	682,040	725,440
未払法人税等	4,574	5,189
賞与引当金	14,688	42,507
返品調整引当金	121,000	178,000
その他	194,658	252,377
流動負債合計	7,421,148	8,090,870
固定負債		
長期借入金	483,352	804,456
退職給付引当金	82,754	68,768
役員退職慰労引当金	309,221	293,698
その他	39,873	39,696
固定負債合計	915,201	1,206,620
負債合計	8,336,349	9,297,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,461,832	3,461,832
資本剰余金	3,188,742	5,541,741
利益剰余金	△2,466,447	△3,853,095
自己株式	△2,868,444	△2,868,416
株主資本合計	1,315,682	2,282,061
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13,413	△11,790
繰延ヘッジ損益	△825	△1,992
為替換算調整勘定	16,556	10,391
評価・換算差額等合計	2,317	△3,391
新株予約権	9,056	—
少数株主持分	1,560,884	1,394,593
純資産合計	2,887,940	3,673,262
負債純資産合計	11,224,289	12,970,753

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	13,277,228	10,930,737
売上原価	10,425,560	8,656,282
売上総利益	2,851,668	2,274,455
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	33,958	19,645
給料及び手当	756,476	693,583
賞与引当金繰入額	5,454	6,668
退職給付費用	12,285	10,004
役員退職慰労引当金繰入額	15,946	15,523
返品債権特別勘定引当金繰入額	180,825	70,803
その他	2,224,779	1,893,052
販売費及び一般管理費合計	3,229,727	2,709,281
営業損失(△)	△378,058	△434,826
営業外収益		
受取利息	13,685	18,646
受取配当金	3,985	1,246
受取賃貸料	31,828	36,006
有価証券運用益	—	25,883
古紙売却益	26,400	11,820
その他	28,464	25,909
営業外収益合計	104,364	119,512
営業外費用		
支払利息	117,766	121,905
賃貸費用	98,429	77,555
為替差損	152,723	111,102
有価証券運用損	906,554	—
投資事業組合運用損	191,563	17,569
その他	8,673	6,890
営業外費用合計	1,475,710	335,024
経常損失(△)	△1,749,404	△650,337
特別利益		
投資有価証券売却益	9,433	92
固定資産売却益	467	—
貸倒引当金戻入額	—	21,413
関係会社株式売却益	142,474	—
新株予約権戻入益	49,494	—
過年度事業税還付額	12,791	—
受取設備負担金	—	19,450
特別利益合計	214,661	40,956

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
特別損失		
固定資産売却損	253	4,442
固定資産除却損	9,988	11,027
たな卸資産処分損	7,851	13,454
投資有価証券売却損	1,184	1,843
投資有価証券評価損	50,069	7,799
減損損失	—	34,522
持分変動損失	—	323,846
貸倒引当金繰入額	84,730	881
賃貸借契約解約損	—	53,266
その他	10,572	12,720
特別損失合計	164,652	463,804
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,699,394	△1,073,186
法人税、住民税及び事業税	150,477	3,963
法人税等還付税額	—	△13,296
法人税等調整額	△1,019	△6,758
法人税等合計	149,458	△16,092
少数株主損失(△)	△48,831	△90,743
四半期純損失(△)	△1,800,021	△966,350

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	4,541,890	3,610,104
売上原価	3,427,593	2,758,811
売上総利益	1,114,296	851,293
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	7,680	9,376
給料及び手当	246,244	214,755
賞与引当金繰入額	5,454	6,668
退職給付費用	3,129	2,979
役員退職慰労引当金繰入額	5,273	5,135
返品債権特別勘定引当金繰入額	182,541	42,396
その他	695,838	600,409
販売費及び一般管理費合計	1,146,163	881,722
営業損失(△)	△31,866	△30,428
営業外収益		
受取利息	6,923	5,631
受取配当金	291	231
受取賃貸料	10,180	12,687
有価証券運用益	3,114	—
保険解約返戻金	—	11,950
古紙売却益	8,091	3,894
その他	998	3,981
営業外収益合計	29,600	38,377
営業外費用		
支払利息	45,618	41,756
賃貸費用	32,639	22,418
為替差損	216,595	5,637
有価証券運用損	—	7,905
投資事業組合運用損	92,468	2,382
その他	9,346	476
営業外費用合計	396,668	80,577
経常損失(△)	△398,935	△72,628
特別利益		
投資有価証券売却益	—	47
関係会社株式売却益	27,000	—
受取設備負担金	—	19,450
特別利益合計	27,000	19,497

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
特別損失		
固定資産除却損	8,549	4
たな卸資産処分損	—	13,454
投資有価証券売却損	205	—
投資有価証券評価損	2,354	2,321
貸倒引当金繰入額	19,761	—
賃貸借契約解約損	—	53,266
その他	—	1,160
特別損失合計	30,871	70,208
税金等調整前四半期純損失(△)	△402,806	△123,339
法人税、住民税及び事業税	62,837	△1,613
法人税等調整額	8,427	6,517
法人税等合計	71,265	4,904
少数株主損失(△)	△94,359	△30,162
四半期純損失(△)	△379,712	△98,080

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,699,394	△1,073,186
減価償却費	181,767	146,421
減損損失	—	34,522
のれん償却額	305,120	236,960
貸倒引当金の増減額(△は減少)	106,615	△4,499
返品債権特別勘定引当金の増減額(△は減少)	180,825	70,803
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,653	△27,819
返品調整引当金の増減額(△は減少)	1,882	△57,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13,184	13,985
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	15,946	15,523
受取利息及び受取配当金	△17,671	△19,892
受取賃貸料	△31,828	△36,006
支払利息	117,766	121,905
賃貸費用	98,429	77,555
有価証券運用損益(△は益)	906,554	△25,883
為替差損益(△は益)	152,723	—
その他の営業外損益(△は益)	136,698	△11,473
投資有価証券売却益	△9,433	△92
関係会社株式売却損益(△は益)	△142,474	—
その他の特別利益	△62,753	—
投資有価証券売却損	1,184	1,843
投資有価証券評価損	50,069	7,799
その他の特別損失	20,815	15,470
持分変動損益(△は益)	—	323,846
売上債権の増減額(△は増加)	△220,491	123,905
たな卸資産の増減額(△は増加)	△71,617	11,831
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,117	△75,385
未払又は未収消費税等の増減額	66,799	3,013
その他	156,269	63,209
小計	214,217	△62,642
利息及び配当金の受取額	17,974	17,371
賃貸料の受取額	31,828	36,006
供託金の返還額	219,770	—
利息の支払額	△134,184	△112,126
賃貸費用の支払額	△79,435	△61,676
賃貸借契約解約支払額	—	△53,266
法人税等の還付額	95,745	48,777
法人税等の支払額	△131,455	△19,437
営業活動によるキャッシュ・フロー	234,461	△206,995

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△23,764	△230,656
定期預金の払戻による収入	—	170,639
有形固定資産の取得による支出	△250,363	△41,020
有形固定資産の売却による収入	10,149	14,064
無形固定資産の取得による支出	△13,176	△4,091
有価証券の取得による支出	△1,093,213	△2,370,230
有価証券の売却による収入	152,659	2,401,475
投資有価証券の売却による収入	328,658	7,223
関係会社株式の取得による支出	△5,178	—
関係会社株式の売却による収入	11,644	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	5,329	—
貸付けによる支出	△352,090	—
貸付金の回収による収入	108,487	68,917
設備負担金による収入	—	19,450
その他	4,334	△4,442
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,116,522	31,328
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	303,820	△384,000
長期借入れによる収入	120,000	15,000
長期借入金の返済による支出	△337,225	△358,093
社債の償還による支出	△175,000	—
自己株式の取得による支出	△34	△28
配当金の支払額	△6	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,446	△727,121
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25,267	731
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△995,774	△902,057
現金及び現金同等物の期首残高	2,766,596	1,853,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,770,821	951,498

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	メディア事業 (千円)	I T事業 (千円)	マーケティング事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,300,374	1,212,019	4,764,834	13,277,228	—	13,277,228
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	159,500	67,768	23,700	250,968	(250,968)	—
計	7,459,874	1,279,787	4,788,534	13,528,196	(250,968)	13,277,228
営業利益又は営業損失(△)	6,205	△40,713	△137,782	△172,290	(205,768)	△378,058

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	メディア事業 (千円)	I T事業 (千円)	マーケティング事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,539,781	1,050,440	3,340,516	10,930,737	—	10,930,737
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	169,200	60,355	19,473	249,028	(249,028)	—
計	6,708,981	1,110,795	3,359,989	11,179,766	(249,028)	10,930,737
営業損失(△)	△152,201	△11,352	△98,768	△262,322	(172,503)	△434,826

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主な事業内容

(1) メディア事業

出版物の制作・販売

(2) I T事業

システム開発等

(3) マーケティング事業

販売促進・支援、マーケティングリサーチ、各種コンサルティング

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (千円)	米国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	12,903,856	373,372	13,277,228	—	13,277,228
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,903,856	373,372	13,277,228	—	13,277,228
営業利益又は営業損失（△）	32,875	△64,386	△31,511	(346,546)	△378,058

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (千円)	米国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,523,150	407,587	10,930,737	—	10,930,737
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,523,150	407,587	10,930,737	—	10,930,737
営業利益又は営業損失（△）	△242,473	36,085	△206,388	(228,437)	△434,826

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

米国・・・ハワイ州、ニューヨーク州

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月25日開催の第5期定時株主総会において、その他資本剰余金のうち2,352,998千円を減少させ、繰越利益剰余金へ振り替えることにつき承認可決され、当第3四半期累計期間において、振替処理をしております。

この結果、当第3四半期累計期間末において、その他資本剰余金が1,659,647千円となっております。

6. その他の情報

該当事項はありません。